

廣直高 Naotaka Hiro

1972 大阪生まれ。現在、ロサンゼルスを拠点に制作活動を行う。

1997 カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) BA

2000 カリフォルニア・インスティテュート・オブ・ジ・アーツ (CAL ARTS)、パレンシア、MFA

個展

1999

タカ・イシイ・ギャラリー、東京

2007

「誰も知らない」MISAKO & ROSEN、東京

2008

「Naotaka Hiro」 ザ・ボックス、ロサンゼルス

「人違い/Wrong Person」MISAKO & ROSEN、東京

2009

「TO AND FROM」(with Sid M. Duenas) Dobaebacsa、ソウル

2012

「Unknown: Video Works 2006-2011」ブレナン・アンド・グリフィン、ニューヨーク

2013

「PIT AND LOG」ブレナン・アンド・グリフィン、ニューヨーク

2015

「RED OLIVE、GOLDEN LIPS」MISAKO & ROSEN、東京

2016

「BIG QUESTION」ブレナン・アンド・グリフィン、ニューヨーク

「PEAKING」ザ・ボックス、ロサンゼルス

2017

「GIBBOUS」ブレナン・アンド・グリフィン、ニューヨーク

2018

「ブレッキング・ザ・ウェーブ」シェーン・キャンベル ギャラリー、シカゴ

2019

「In the Ravine (峡谷にて)」MISAKO & ROSEN、東京

「Subterranean & Wanderer」ブレナン・アンド・グリフィン、ニューヨーク

2021

「Armor」ザ・ボックス、ロサンゼルス

「Green Door」ヘラルドストリート、ロンドン

2022

「Sand-man」ボルトラミ、ニューヨーク

2024

「Two Worlds」ザ・ボックス、ロサンゼルス

「Limbs, Anatomy, Grandview」MISAKO & ROSEN、東京

2025

ボルトラミ、ニューヨーク (予定)

グループ展

1997

「カールズ・プレイス」クオン・ブラザーズ、ロサンゼルス

「カールズ・プレイス 2」ロサンゼルス・コンテンポラリー・エキシビションズ (LACE)、ロサンゼルス

「IMPRUDENT」、ホワイト・ギャラリー、カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA)

「ダグ・エイケン、アレックス・バッグ、廣直高」タカ・イシイ・ギャラリー、東京

1998

「エロポップトウキョウクリスマス」ナディッフ、東京

「RE-LAX」ギャラリー・クリンジンガー、オーストリア

「GOOD-BYE、ENIWETOK」、ビヨンド・バロック、ロサンゼルス

2000

「ARTIFICIAL REAL」LOW、ロサンゼルス

2001

「INAUGURAL SCREENING」C-レベル、ロサンゼルス

「NEW ROMANTIC」ダイアンプロイス、ロサンゼルス
「ヒロポンショー」東京都現代美術館、東京

2002

「LANDSCAPE」ゼロワンギャラリー、ロサンゼルス
「YOUNG JAPANESE ARTISTS」LIMN ギャラリー、サンフランシスコ

2003

「プラハビエンナーレ 1」ナショナルギャラリー、プラハ、チェコ共和国

2004

「OPEN CALL LA 2004」ロサンゼルス市立ギャラリー、ロサンゼルス
「MAANA ART FES」曽根裕スタジオ、パサデナ
「THE GROCERY LIST」アート 2102/ザ・マウンテン、ロサンゼルス

2006

「PANIC OUR OLDER BROTHER」ALM ギャラリー、ミュンヘン
「POLYSPHARE」ラウムコマンダー、ベルリン
「AJA XX:AP1/2」JACCC、ロサンゼルス
「CORONA」シド・デュエナスとの二人展 誌上企画
「Many Many Guys and Girls, All Real Beauties」サーカス・オブ・ブックス、ロサンゼルス
「Chain Mail」ハイ・エナジー・コンストラクツ、ロサンゼルス

2007

「RENTAL presents TRUDI: NO JERKS」レンタル、ニューヨーク

2008

「Figures」デビッド・コーダンスキーギャラリー、ロサンゼルス
「ニュートーキーコンテナラリーズ」新丸の内ビルディング 7F、丸の内ハウス、東京

2009

「Extra Extra」チャイナ・アート・オブジェクト、ロサンゼルス
「ゲバゲバサマーショー ～ゲバゲバな 4 週間～」Misako & Rosen、東京

2010

「ATLAS OF GIFTED IDEAS」ヘンリー・アート・ギャラリー、シアトル
「田中功起／廣直高、大城カズ」ラス・シエネガス・プロジェクト、ロサンゼルス
「SYMPATHETIC MAGIC／神話と儀式」アーモリー・センター・フォー・ジ・アーツ、パサデナ

2011

「Pt. & Pt. with Sid M. Duenas, High Desert Test Site」ジョシュア・ツリー、ユッカ・バレー
「Objects for the Living」ポスト、ロサンゼルス
「Happy Mind - My View」Misako & Rosen、東京

2014

「WHERE THE SAND WORMS SLUMBERS」チャーリー・ジェイムスギャラリー、ロサンゼルス、
「HALF EMPTY」ブレナン&グリフィン、ニューヨーク
「IS THE ART PRETTY? NO, SAYS MUMMY. PRETTY IS NOT IMPORTANT」Beefhaus、ダラス
「EAST SIDE TO THE WEST SIDE」FLAG Art Foundation、ニューヨーク
「MEN IN LA: THREE GENERATIONS OF DRAWERS」The Box、ロサンゼルス

2015

「GROUP EXHIBITION: GUY GOODWIN, HEATHER GUERTIN, NAOTAKA HIRO, DAVE McDERMOTT, JASON MEADOWS」Brennan & Griffin、ニューヨーク
「ALFRED JARRY ARCHIPELAGO: LA VALSE DES PANTINS - ACTE II」フェルム・ド・ビュイソン現代アートセンター、パリ
「R.S.V.P. LOS ANGELES: THE PROJECT SERIES AT POMONA」ボモナカレッジ付属ベントン美術館、カリフォルニア
「MIRROR EFFECT」The Box、ロサンゼルス、

2016

「PROTUBERANCES」LA><ART、ロサンゼルス
「PLACEBOUND」ウッドベリー大学、カリフォルニア
「A MODEST PROPOSAL」Hauser & Wirth New York 18th Street、ニューヨーク
「HUMAN AFTER ALL」VCUarts、バージニア
「IMPROMPTU」The Box、バージニア

2017

「ABSTRACT / NOT ABSTRACT」ムーア・ビルディング、マイアミ（キュレーション：ジェフリー・ダイチ&ラリー・ガゴシアン）
「BETWEEN WORDS AND SILENCE: THE WORK OF TRANSLATION」Aアーモリー・センター フォー・ジ・アーツ、カリフォルニア
「THE ECSTASY OF MARY SHELLEY」Los Angeles Contemporary Exhibitions、ロサンゼルス

2018

「MADE IN L.A.」The Hammer Museum、ロサンゼルス（キュレーション：アン・エレグッド&エリン・クリストベイル）
「HOG'S CURVE」Halsey McKay Gallery、ニューヨーク

「ALAN SHIELDS PROJECT」 Van Doren Waxter、ニューヨーク
「ハッピーマインド・ナチュラルハイ」 MISAKO & ROSEN、東京
「廣直高 エリック・ウェズリー プーネー・マグザエ&ロビン・ペック」 ステップシスター、ニューヨーク

2019

「コンドーロンドン」 サザード・リード、ロンドン
「土肥美穂、廣直高、富永航」 ノナカヒル、ロサンゼルス

2020

「myseleves」 Kohn Gallery、ロサンゼルス

2021

「Sweet Home」 クリスタル・パス・メソッド、ニューヨーク（オーガナイズ：キャサリン・ブレナン、タイトル：COBRA）
「Upstairs: Sweet Home」 レイチェル・ウフナー、ニューヨーク（オーガナイズ：キャサリン・ブレナン、タイトル：COBRA）
「Disturbances in the Field」 ネバダ美術館、ネバダ

2022

「The Hearing Trumpet: part I」 Marguo gallery、パリ
「New Abstracts: Recent Acquisitions」 LACMA ロサンゼルス・カウンティ美術館、ロサンゼルス
「Shadow Tracer: Works on Paper」 アスペン美術館、アスペン
「Open Storage: 25 Years of Collecting」 The Warehouse、ダラス

2023

「Papertrail」 マシュー・ブラウン、ロサンゼルス
「Watercolours, Chapter III」 ヴァイス・フォーク、バーゼル

2024

「Collection Displays」 ニューヨーク近代美術館、ニューヨーク
「What it Becomes」 ホイットニー美術館、ニューヨーク
「AWT FOCUS 『大地と風と火と：アジアから想像する未来』」 大倉集古館、東京（監修：片岡真実）

スクリーニング

1997

「カールズ プレイス」 クオン・ブロス、ロサンゼルス
「カールズ プレイス 2」 LACE、ロサンゼルス

1998

「Good Bye, Eniwetok」 ビヨンド・バロック、ロサンゼルス

2001

「イナーゲラル・スクリーニング」 C-レベル・チャイナタウン、ロサンゼルス
「アートウォーク・アフター・パーティー2007」 LACMA MUSE、ロサンゼルス

2008

「ゼゾン・ビデオ フィジカル、ポートレイト、アイディアル#10」 ルーバイックス、フランス
「マダー・プリテンデッド」 カーサ・ベキーナ（自主企画）
「ヤング・アンド・イーブル」 タンク TV（インターネット媒体、企画：スチュワート・カマー）

2009

「ヤング・アンド・イーブル」 REDCAT、ロサンゼルス
「I Found Myself an Innovator」、DiverseWorks、ヒューストン（企画：レイチェル・クック、奥村雄樹）

2010

「NO SOUL FOR SALE」、テートモダン、ロンドン

2016

「RAW 2016」 Reed College、ポートランド

2018

「BODIES 2」 France Los Angeles Exchange (FLAX)、ロサンゼルス

刊行物

「Corona Issue no.1」 (ed. 500)、magazine project with Sid M. Duenas、2006
「To and From」、with Sid M. Duenas、2008
展覧会カタログ「RSVP LOS ANGELES: THE PROJECT SERIES AT POMONA」 エッセイ：グレン・フィリップス、2015
展覧会カタログ「WHERE THE SAND WORM SLUMBERS」、2015

パブリックコレクション

MoMA、ニューヨーク
The Whitney Museum、ニューヨーク

MOCA、ロセンゼルス

The Hammer Museum、ロセンゼルス

The Santa Barbara Museum of Contemporary Art、サンタバーバラ

国立国際美術館、大阪

Minneapolis Institute of Art、ミネソタ

Tumurun Museum、スラカルタ